

シルバー ながの

第48号
2022.9月発行
SILVER
NAGANO

公益社団法人
長野県シルバー人材センター連合会
〒380-0841 長野市大門町51番地1
TEL 026-237-4680 FAX 026-237-5665



星ヶ塔黒曜石原産地遺跡は、霧ヶ峰山塊の北西部にある星ヶ塔山の東斜面の標高500メートルの林内に広がる、縄文時代の黒曜石採掘遺跡です。現在までの調査では、約3万5千平方メートルの範囲に縄文時代の黒曜石採掘跡が193箇所分布していることが明らかになりました。

縄文時代前期と晩期の黒曜石採掘坑が発見され、長期間にわたる黒曜石採掘遺跡であることが分かり、縄文時代の資源開発と流通を考えるうえで極めて重要な遺跡として、平成27年3月に国史跡に指定されました。

火山国である日本列島には、北海道から九州まで100箇所以上の黒曜石原産地があるといわれ、長野県中央部の下諏訪を含む中部高地は本州最大規模を誇り、全国的にも代表的な黒曜石原産地です。その中でも星ヶ塔遺跡は日本で唯一の黒曜石岩脈採掘坑であり、縄文人が実際に掘つた鉱山跡として国内でも貴重な縄文遺跡とされています。星ヶ塔遺跡は国有林内にあるため、通常は立ち入り禁止となつており特別な許可がなければ入れない区域となっています。

下諏訪町観光振興局では、遺跡発見者の解説付きで星ヶ塔遺跡の見学ができるツアーを実施しています。ぜひ、縄文時代に思いを馳せる旅へお出かけください。

写真・紹介文提供 下諏訪町観光振興局
問い合わせ 0266-27-1800

日本で唯一の黒曜石岩脈採掘坑
縄文人が掘つた星ヶ塔遺跡

令和4年度 定時総会開催

令和4年度事業報告及び 収支決算、承認される

6月9日（木）、長野市のメトロポリタン長野において、令和4年度定時総会が開催されました。

今年度も新型コロナ感染症の蔓延防止のため、各センターからの出席は原則としてご臨席いただいている長野労働局長と長野県産業労働部長をお招きしないという形での三年続きの開催となりました。



▲ 酒井会長挨拶



▲ 田野尻理事長

続いて、議長には、（公社）安曇野シルバー人材センターの田野尻理事長が選出され、まず令和3年度事業報告及び収支決算について熱心に審議をいただき、全会一致で承認され、続いて、令和4年度事業計画・収支予算が報告されました。

就業先の拡大に取り組んでいく必要があると話されました。

また、シルバー事業をとりまく環境が複雑多様化し、様々な課題がある中で、センターが活力ある運営を行うためには、これまでの枠にとらわれない柔軟な姿勢で事業を進めることが重要であると話されました。



▲ 表彰された井口前事務局長

令和4年度 事業計画の主なもの

①公益法人運営事業

連合会並びに21センターは、公益社団法人として、法人のガバナンス、コンプライアンス体制、情報公開と情報管理体制の整備・充実などが重要であり、あらゆる面において適切で円滑な運営ができるよう、センターの事務・事業をサポートしていく。

②安全・適正就業推進事業

「安全・安心なシルバー事業」はシルバー事業遂行の基幹であり、重篤事故を防ぐ尽力いただいた各氏を総会の席上において表彰することになりますが、今年度もコロナ感染症の影響等により6氏のうち伊那広域シルバー人材センター前事務局長井口功氏のみご出席いただき、壇上において酒井会長から表彰状と記念品が授与されました。残る5氏については、表彰状と記念品をそれぞれのセンターに後送させて頂きました。

○安全就業

「適正就業ガイドライン」に沿った業務運営により就業の適正化を推進する。

③就業開拓等事業

多様化する地域ニーズや会員の就業課題であり、女性会員の拡大や退会抑制、

連合会表彰受賞者

また、派遣事業専門委員会において諸課題の協議を進め、新たな役割分担等に移行するための準備作業を進める。

⑤シルバー派遣事業

高齢者の多様な就業ニーズに対応するため、各実施事業所との緊密な連携のもと、派遣事業を推進する。

④交流研修事業

センター役職員の資質の向上と相互の情報共有を図るため各種研修会等を開催するとともに、全国シルバー人材センター事業協会が実施する研修会等に参加する。

⑥高齢者活躍人材確保育成事業

高齢者の就業を推進するため、技能講習、就業体験、広報活動を実施し、新規会員・発注企業の拡大に戦略的に取り組む。



センター新任理事長

・事務局長

◆新任理事長 2氏

・坂戸千代子氏（佐久）
・齊藤 章氏（小諸北佐久）

※令和3年8月就任

安全・適正就業対策 推進委員会

●全シ協表彰 ●

■会長表彰（長期就任）

小諸北佐久シルバー
人材センター
吉澤 忠幸氏

5月23日、第一回安全・適正就業対策推進委員会を新型コロナ感染症対策のため、オンライン形式により、本年度の安全・適正就業の年次計画や重点目標について討議し、次のとおり決定しました。

- ・事故発生件数が増加傾向にあることを念頭に、就業現場の巡回パトロールを県下21センター全てにおいて実施する。
- ・例年10月に開催している安全・適正就業推進大会については、コロナ感染症の感染状況を十分に見極めつつ、内容を含めて検討する。
- ・安全・適正就業の意識啓発のための標語を募集し、安全・適正就業推進大会において入選者の表彰を行う。
- ・令和4年度の取り組み目標を前年度に引き続き

- ⑤安全・適正委員会、推進員による安全対策の点検と徹底による事故防止体制の確立
- に本年度から
- ①安全ミーティングの完全実施
- ②安全装備使用の徹底
- ③健康診断受診及び健康体操の奨励
- ④交通事故防止



を加えることとしました。



▲表彰された吉澤忠幸さん

この度は、全国シルバー人材センター事業協会令和四年度定時総会におきまして、表彰規程に基づく、理事長職長期就任に係る会長表彰をいただき、まことに

多くの仲間に支えられて

（公社）小諸北佐久シルバー人材センター
元理事長 吉澤忠幸

ありがとうございます。名譽ある表彰を頂戴し身に余る光榮でございます。心より御礼申し上げます。

私は、平成十九年度より四期八年会員理事を務め、その後、平成二十七年度より理事長職に三期六年就かせていただきました。

理事長就任中は、作業安全意識の高揚のための講習等の開催強化に取り組み、平成三十年度には、全国安全就業シルバ一人材センター優秀賞をいただいたことや、平成から令和へ年号が変わる頃には、請負就業から派遣事業への展開移行、消費税に関するインボイス制度対応が始まると様変わりの速さを実感したところであります。派遣事業への展開移行については、関係する皆様のご理解も得て、長野県ではトップクラスのセンターとなつたことです。派遺事業への展開移行については、などが思い起こされます。

理事、理事長と延べ十四年間に渡り役職を務めてこれまでのものも、長野県シルバー人材センター連合会関係者の皆様のご指導のたまものでござります。

また、歴任中は、多くの会員の皆さんのご支援や事務局職員の方々の献身的な支えをいただき、このように長きに渡り役職を全うできましたのも、本当に多くの仲間に恵まれ、皆様の支えがあつたらこそと、あらためて実感しております感謝の気持ちでいっぱいです。

今後も、一人の会員として、持続可能なシルバー人材センターの構築に向け、微力ながら貢献できるよう頑張ってまいります。本当にありがとうございました。

安全就業センター 優秀賞を受賞して

中野広域シルバー人材センター
理事長 湯本静雄

当センターは、平成7年に全シ協の安全就業優良賞をいただいて以来、本年の全シ協安全就業優秀賞を全国8シルバーの一つとしていたきました。

当センターは令和3年度末において会員数784人、受託件数4,699件、契約金額3億593万円となっています。

事故発生件数は、令和2年度31件、3年度24件と決して少なくありません。主な事故は、送迎による車両事故と草刈作業の飛石事故が大半を占めています。いか

くも、組織を挙げて事故防止に取り組んでおります。事故は被害者はもちろん本人や家族を不幸にするばかりでなく、他の会員、発注者様など多くの人達にも影響を及ぼし、ひいてはシルバー人材センターの事業運営に支障を及ぼしかねません。

安全就業を推進するため、安全委員会を設置し、対策に取り組んでおります。具体的な活動としては、安全委員による毎月の就業現場の安全パトロール及び隣接シルバーとの相互合同パトロールにより

重篤事故（死亡または6ヶ月以上入院事故）は発生していませんが、入院1ヶ月以上6ヶ月未満事故については3件（昨年2件）で1件増加し、いずれも就業中に発生しています。

一方、除草・草刈り作業中の事故が92件で14件の増、植木剪定作業中の事故20件で15件減少となっています。除草・草刈り作業と植木剪定作業における事故発生は、全体の44・2%（昨年度は55・9%）を占めている状況であり、会員の高齢化が徐々に進んでいることを踏まえ、身体能力の低下を自覚しつつ、一切だと思われます。

その結果、事故件数は208件（昨年同期202件）と6件増になりました。内訳を見ますと、就業中の事故件数は190件（同190件）と同数、就業途上の事故件数は18件（同12件）と6件増えています。

今年度も、昨年同様の重点目標と四つを掲げ取り組んできました。

- ・「交通事故防止」
- ・「健康診断受診及び健康体操の奨励」

安全・適正就業対策を徹底しましよう

——令和3年度は重点目標を『危険ゼロ』と定めました——

具体的取り組みとして

・「安全ミーティングの完全実施」

・「安全装備使用の徹底」

・「交通安全指導」

安全・適正就業パトロールを開催しました

安全就業強化月間に合わせて7月下旬から8月下旬にかけて、県内21センターの協力のもと連合会安全・適正就業対策推進委員会委員がセンターの安全（推進）委員さんとともに植木剪定若しくは機械除草の現場パトロールを行いました。



安全就業推進研修会を開催しました

KY活動を実施するための人材育成の一環として、県内5ブロックごとの研修会を6月に開催しました。今回は連合会の内田安全・適正就業パトロール指導員を講師に実際に発生した事故事例を元にした危険予知訓練などを行いました。



に会員に安全意識を持っていたらかが大切です。

また、全ての事故を検証・分析し速やかに対応をしております。さらに、安全就業強化月間の7月には安全就業推進大会を開催し安全就業標語及び交通安全標語を募集し最優秀賞他各5点を表彰しております。同時に、交通講習会、ドクター等による健康講習会を開催して周知に当たっていますが、

今年度はコロナ禍で延期となりました。今後も、「事故ゼロ」から「危険ゼロ」の危険予知で事故撲滅を目指します。



の具体的取り組みに「安全・適正委員会、推進員による安全対策の点検と徹底による事故防止体制の確立」の新たな具体的な取り組みを加えて、より一層の安全・適正就業を推進してまいりますので、会員の皆さんも新型コロナ感染症や熱中症にも十分に気を付けながらご協力をお願いします。

安全就業の一層の徹底をお願いします。

がなされました。汗が滴り落ちる例年になく暑い中でも会員さんが安全装備を装着されたり、事故防止に向けて休憩をこまめにとるなどの対策をきちんと講じられていました。普段

が無事故に就業に向けた意識醸成が無事故に就業に向かうことが確認できました。普段

令和4年度 高齢者活躍人材確保育成事業 日程表

■講座&説明会

| 開催地 | シニア活躍応援講座&説明会 | 開催日 | 定員数 | 受講申込先 | |
|------|---------------------|---------------------------|-----|------------|--------|
| | | | | シルバー人材センター | ハローワーク |
| 千曲市 | 緑のある時間 | 7/27(水)・8/24(水)・9/28(水) | 10 | 更埴地域 | 篠ノ井 |
| 松本市 | 花のある暮らしとガーデニング | 9/29(木) | 15 | 松本地域 | 松本 |
| 駒ヶ根市 | 心身リフレッシュ!講座 | 9/28(水)・10/19(水)・11/24(木) | 10 | 駒ヶ根伊南 | 伊那 |
| 諏訪市 | すっきり爽やか健康体操 | 10/7(金) | 10 | 諏訪市 | 諏訪 |
| 阿智村 | 健康講座 | 10月 | 10 | 下伊那西部 | 飯田 |
| 松本市 | シニア活用で人手不足解消(企業説明会) | 10月 | — | 松本地域 | 松本 |
| 安曇野市 | 好感度アップのおしゃれ術講座 | 11/17(木) | 20 | 安曇野 | 松本 |
| 上田市 | シニア世代のライフプラン講座 | 11/18(金) | 20 | 上田地域 | 上田 |
| 佐久市 | 健康体操(3B体操) | 未定 | 15 | 佐久 | 佐久 |

■就業体験

| 開催地 | 就業体験 | 開催日 | 定員数 | 受講申込先 | |
|-----|-----------|---------------|-----|------------|--------|
| | | | | シルバー人材センター | ハローワーク |
| 諏訪市 | 庭木剪定就業体験 | 6/2(木) | 10 | 諏訪市 | 諏訪 |
| 飯田市 | 刃物研ぎ就業体験 | 7/28(木) | 15 | 飯田広域 | 飯田 |
| 木曽町 | 庭木剪定就業体験 | 8/2(火)・8/3(水) | 5 | 木曽 | 木曽福島 |
| 上田市 | ぶどう収穫就業体験 | 9/14(水) | 15 | 上田地域 | 上田 |
| 大町市 | 清掃就業体験 | 11月 | 5 | 北アルプス広域 | 大町 |

企業で見学・就業体験(年間を通して実施)

■技能講習

| 開催地 | 技能講習 | 開催期間 | 日数 | 定員数 | 受講申込先 | |
|-----|--------------|----------------------------|----|-----|------------|--------|
| | | | | | シルバー人材センター | ハローワーク |
| 上田市 | 庭木・庭園管理講習 | 6/13(月)～6/17(金) | 4 | 15 | 上田地域 | 上田 |
| 小諸市 | 庭木剪定講習 | 6/22(水)～7/20(水) | 5 | 15 | 小諸北佐久 | 佐久 |
| 千曲市 | 庭木剪定初心者講習会 | 7/6(水)～9/21(水) | 6 | 10 | 更埴地域 | 篠ノ井 |
| 茅野市 | 庭木剪定講習 | 7/19(火)～7/22(金) | 4 | 10 | 茅野広域 | 諏訪 |
| 佐久市 | 庭木剪定講習 | 9/20(火)～9/30(金) | 4 | 10 | 佐久 | 佐久 |
| 塩尻市 | 庭木剪定講習 | 9/28(水)・9/29(木) | 2 | 10 | 塩尻地域 | 松本 |
| 長野市 | 庭木剪定講習 | 10/11(火)・10/12(水)・10/13(木) | 3 | 10 | 長野 | 長野 |
| 中野市 | 日常生活支援講習 | 10/20(木)～10/25(火) | 3 | 10 | 中野広域 | 飯山 |
| 須坂市 | 暮らしに役立つお掃除講習 | 11/1(火)・11/2(水) | 2 | 10 | 須高広域 | 須坂 |
| 松本市 | スマートフォン活用術講習 | 1月 | 2 | 15 | 松本地域 | 松本 |
| 伊那市 | 果樹剪定講習 | 1月 | 2 | 15 | 伊那広域 | 伊那 |



▲ 刃物研ぎ就業体験(飯田市)



▲ 庭木剪定就業体験(諏訪市)



▲ 緑のある時間講座(千曲市)

公益社団法人
更埴地域シルバー
人材センター

シルバーだより



〒387-0011
千曲市大字杭瀬下820番地3
TEL 026-272-5630
FAX 026-273-5488
 • 理事長 森 義一郎
 • 副理事長 宮下 義男
 • 専務理事・事務局長 竹内 司
 • 法人設立 昭和61年8月1日
 • 構成市町 千曲市・坂城町
 • 会員数 756人(令和4年6月末)
 • 契約金額 441,485千円(令和3年度実績)



手芸班による干支の「あみぐるみ」

更埴地域は、千曲市と坂城町を活動の拠点とし、両市町のほぼ中央を千曲川が南北に流れ、その両岸に広がる平坦部は、肥沃な耕地で形成されています。古くから人々の暮らしや産業経済発展の基盤として、生活・文化を育んできました。東西には緑豊かな山林も広がるなど自然に溢れ、住民の憩いとなる公園や文化施設などもバランスよく配置されている魅力たっぷりの地域です。

令和2年7月に文化庁の日本遺産に認定された月の名所「姨捨」、「日本一のあ

地域の概要

地域に貢献

「んずの里」、県内屈指の温泉街を形成する「戸倉上山田温泉」、毎年2300株以上のバラが咲き誇る「さかき千曲川バラ公園」などが代表的観光資源になっています。

その魅力ある“まち”づくりに当センターの会員も地域に暮らす一員として、一翼を担っています。

あんずの里や姨捨、バラ公園では、イベント開催時に来訪者が安心して安全に楽しんでいただけるよう駐車場の案内、受付業務、飾りつけなどで活躍しています。また、住民の憩いや健康増進の場である緑地・都市公園、スポーツ施設では、草



「あんずまつり」駐車場案内



“食”的貢献?
独自事業「シルバー農園」タマネギ収穫



刈り払い機安全講習会



会員自らも健康に!
「健康スマイル体操」

活動の紹介



「さかき千曲川バラ公園」
手入れ作業

刈りや樹木の伐採、トイレの清掃など、来場される方が気持ち良く利用していただけるよう心掛けながら就業に励んでいます。昨年来、新型コロナウイルスの感染拡大

大によってイベントの開催や施設の利用が制限されるなど、活気や賑わいが薄れつありますが、シルバー人材センターとして、以前にも増して地域の魅力を高めるため貢献していきます。

地域の概要

当センターのある大北地域は、3千m級の雄大な北アルプス連峰を臨み、四季折々の変化に富んだ美しく豊かな山岳環境を有しています。また、北アルプスを源とする清冽な河川や湖など自然に囲まれたまさに山紫水明の地です。

この水資源を利用した水工場が数社操業しています。令和3年5月には大町市に「サントリーナ天然水北アルプス信濃の森工場」が稼働し、「天然水〈北アルプス〉」として販売されています。(南アルプスの

誤植ではありません)

6月から天然水の新CMが始まりました。

た。

白馬村から臨む八方尾根と岩岳を背

景に、大河ドラマに静御前役で出演した女優が大声を出しながら畑を耕し天然水喉を潤す、というCMです。スポーツで汗を流すのではなく畑で、というのが当地域のイメージなのでしょうか。「土と水と人と」がCMのテーマだそうです。

ちなみに、高齢女性のセリフ「よーいとやれやあ」を翻訳すると「休み休みやりなさいよ」となります。

当センターは昭和63年に「大町市シル

バーカンセンター」として設立し、池田町との合併を経て、平成11年7月に大町市、

会員数は入会者の減と退会者の増によ

り減少しています。昨年度の入会者は48名で退会者が93名でした。入会者の数の減少と高齢化というダブルパンチへの対策が課題となっています。

池田町、松川村、白馬村、小谷村で構成する「北アルプス広域シルバー人材センター」として発足しました。

会員数は入会者の減と退会者の増によ

シルバーだより



KITA-ARUPUSU



白馬村 松川清流

〒387-0011
大町市大町4113番地
TEL 0261-22-2445
FAX 0261-23-5033
・理事長 川本嘉端義
・副理事長 中嶋一光
・専務理事・事務局長 北沢一人
・法人設立 昭和63年6月14日
・構成市町村 大町市・池田町・松川村・白馬村・小谷村
・会員数 524人(令和4年6月末現在)
・契約金額 289,458千円(令和3年度実績)



マレットゴルフクラブ



アルプスマラソン応援



大町市 高瀬川



奉仕活動



麻雀クラブ



野菜・健康作りクラブ

活動・地域の紹介

トピックス

イギリス放送局の取材にビックリ!!



▲イギリス チャンネル4による取材

去る5月31日にイギリスの公共サービス放送チャンネル4が連合会に取材に訪れました。30年以上にわたって同番組のニュース司会者を務められたジョン・スノウ氏が自身が74歳となり、これからのお後の生き方を模索している中で、健康长寿をテーマに日本・ギリシャ・アメリカなどを訪れ、健康を維持し生きがいを感じる充実した生活を送っている人を取材するものです。連合会では、イギリスにはないシルバー事業の仕組みや実態を取り材したもので、宮下事務局長が語学力を駆使して、流暢に応対をしました。

放送は秋頃を予定しているようですが、よろしければ番組を見に訪英をお願いします。

なんと、酒井会長 ラジオ生出演!!



▲酒井会長と武田徹さん

SBCラジオの人気長寿番組「武田徹のつれづれ散歩道」の毎月第2週と3週の土曜日に放送される“人生はこれからだ！365日大学生只今参上”的コーナーに酒井会長が6月11日に生出演されました。

『365日大学』は人生100年時代をどう生きるか。定年後のシニアに居場所をテーマに、人生は、いつまでもワクワク、ドキドキ、やりがいがあつて健康で暮らせることが一番、そんなことを願い実践する人々の集いの場とのことです。そして、なんとメインパーソナリティの武田さんと酒井会長は同級生の仲なんです。

す。短い時間でしたが思い出話に花を咲かせた楽しい番組となりました。長野シリバーカー人材センターの理事長、連合会の会長として日々奮闘されている酒井会長は元気そのものです。

やはり、シニア層にとつてシルバー事業は百利あつて一害なしですね。酒井会長、百歳まであと〇〇年です、健康で頑張つてください!!

猛暑の中、会員さんは発注者の期待に応えようと汗を流されています。熱中症や事故の無いようになんごれも気を付けてください。



▲除草作業の現場



▲植木剪定の現場

安全・適正就業パトロールが始まりました



▲パトロール前のミーティング

翻つて、我が国の食料自給率を見るとカロリーベースで20年度37%というお寒い状況である。諸外国に頼らなければ満足に食事もできないのである。

さて、会員の減少や高齢化が続くシルバーセンターにも年々荒廃農地の除草依頼が舞い込むが会員の健康を第一にお断りせざるを得ない状況が続いている。このような状況下であれば、今こそ「子孫に美田を残す」とが急務なのではないか。

シルバーにおいては、除草作業から農作業支援への転換である。外に目をやれば、多くの国が急激な気候変動による干ばつなどの影響を受けており、我が国土を保全するためにも中山間地をはじめとする農地を守らなければならない。さあ、シルバーの出番です。

編集だより

ロシアのウクライナ侵略から長い日々が経過し、毎日増える犠牲者の報道に胸が痛む。一刻も早い終結を望むばかりである。さて、日本でも物価や燃料代の急激な高騰により、今後の国民生活、特に冬期の対策が懸念される状況にある。今回の事で、農産品や工業原材料、電子機器などの全世界をまたぐサプライチェーンの課題が浮き彫りになった。我々が普段何気なく食べている食べ物や日々便利に使っているスマホなどの機器がもはや一国のみでは成り立たないという現実が突き付けられたのである。より安く、大量に生産できる国からの輸入が少しでも滞れば、につもさつもいかなくなってしまう。そして、各国は是非とも入手するためには、価格競争に陥り一層の価格高騰を招くという悪循環に陥ってしまうことになる。

ロシアのウクライナ侵略から長い日々が経過し、毎日増える犠牲者の報道に胸が痛む。一刻も早い終結を望むばかりである。さて、日本でも物価や燃料代の急激な高騰により、今後の国民生活、特に冬期の対策が懸念される状況にある。今回の事で、農産品や工業原材料、電子機器などの全世界をまたぐサプライチェーンの課題が浮き彫りになった。我々が普段何気なく食べている食べ物や日々便利に使っているスマホなどの機器がもはや一国のみでは成り立たないとい